

豊島区居住支援事業 選考委員会

日時 平成26年5月22日（木曜日） 午前10時00分～10時30分
場所 豊島区役所本庁舎4階 第二委員会室

次 第

1. 開会

2. 選考

- (1) 事業者についての評価
 - ・ 河野敦子
 - ・ NPO法人リトルワズ
- (2) シングルマザー支援事業者の決定

3. 閉会

事 務 連 絡
平成26年4月22日

豊島区居住支援協議会
会員各位

豊島区居住支援協議会 事務局

シングルマザー支援事業者の再選定について

豊島区居住支援協議会モデル事業の一つとして、平成24年度から25年度にかけて2つの事業主体のコラボにより「としまシングルマザーズシェアライフプロジェクト」を実施してきました。

そうした中、事業主体間で目指す活動の方向性の違いが現れてきたことから、それぞれを別々の事業主体として、その適格性を判断し、1つの事業主体を選定して本格実施に取り組んでいただく必要があるとの判断に至りました。

選考手続きについては、まず、選考対象者から事業計画書をご提出いただき、事務局にて選考対象者のヒアリングを行い、その後、事業計画書とヒアリング内容をもとに選考委員の皆様へ審査を行っていただき、審査結果につき、総会の承認を経て補助対象となる事業者を決定する、といった流れを想定しております。

以上のような進め方させていただきたいところですが、よろしいでしょうか。会員の皆様にお諮りさせていただきたいと存じます。

豊島区居住支援事業選考委員会メンバー

氏名	所属部会名	職名
小林 秀樹	調査・企画・広報専門部会長	千葉大学大学院工学研究科教授
定行 まり子	調査・企画・広報専門部会	日本女子大学家政学部 住居学科教授
露木 尚文	調査・企画・広報専門部会	株式会社 住宅・都市問題研究所 代表取締役
小池 武次	相談事業専門部会長	公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会 豊島区支部常任幹事
大竹 宏和	モデル事業専門部会	社会福祉法人 豊島区社会福祉協議会 地域福祉推進課長
常松 洋介	モデル事業専門部会	豊島区保健福祉部福祉総務課長
島貫 浩	モデル事業専門部会長	豊島区都市整備部住宅課長

平成26年度 申請事業活動実施計画書

団体名	河野 敦子
------------	-------

事業の目的	<p>(解決したい地域の課題はどのようなことですか) 厚生労働省「平成22年度国民生活基礎調査」によると、母子家庭の平均所得金額は262.6万円(児童を持つ世帯の平均所得金額697.3万円の1/3)であり、「生活に困っていること」のアンケートでは「居住問題」が就業、家計に続き第三位となっている。母子家庭は経済的理由により、住居獲得が難しく、小さな子供を持つ為に、「フルタイムで働けない」、「残業が出来ない」、「昇進が難しい」、「キャリアアップのための勉強時間が取れない。」などの問題が生じ、ワーキングプアから脱し辛いのが現状である。また、子供にかける時間と家計も制限されているため、子供自身にも格差が生じている。そこで、一人親家庭の自立促進と社会基盤の獲得を目指すためには、まず住居の提供と、生活基盤に近い自立促進機会の提供が必要と考え今回の事業を提案した。</p> <p>(実現したい成果はどのようなことですか) ひとり親家庭が半共同生活の形をとり、事業者が自立支援と相互支援のシステムや情報の提供をすることで、経済的、社会的自立と精神的安定を実現し、自立した家庭を築くことを目標とする。本事業はあくまでも「入居者の自立」を目的としており長く入居してもらうことが目的ではない。本事業により、母子家庭がお金とキャリアと仲間を得て経済的・社会的・精神的自立ができるよう支援することが本事業のミッションである。</p> <p>子供に対しては学習の習慣づけと、総合的な学びの場を提供する。 地域との交流を積極的に行うことで、親子の孤立を防ぐ。 自立した母子家庭を増やすことで、都や区の財政負担を軽減したい。</p>	
事業の概要	<p>(事業の主な対象は誰ですか) 小学校低学年までの子供を持つひとり親家庭</p> <p>(どのようなサービスを提供しようとしていますか) ・賃貸契約が困難な家庭への住居の提供。 ・シェアハウス居住者相互援助のシステム作りとその提供。 ・居住者の子供と地域の子供の為に総合学習の場を提供。 ・居住者の親や地域住民を対象にファイナンシャルセミナー等、経済的及び社会的自立と豊かさを目指す勉強会等の実施。</p> <p>(どのような方法で実現しようと考えていますか) ・週2回程度保育士等の資格を持つスタッフあるいはファミリーサポート員等の協力得て親が帰る前の子供の保育と夕飯の準備を実施。 ・区やNPOとの協力の下、居住者への生活相談、自立支援等を実施。 ・週2回程度、子供の為に「学びの場」を開催。 (居住者の子供は無料、地域の子供は月3000円程度の負担とする。) ・居住者と地域住民向けにコミュニティルームを利用したサロンやセミナーの開催。(居住者と地域住民に1000円程度をお茶代として負担してもらう。)</p> <p>(その事業を将来も継続していくためにどのような取り組みを考えていますか) 始めはシングルマザーの3~4世帯を対象にした転貸業務をベースにしなが、上記コミュニティビジネス部分の充実及び拡張を図る。その後、企業による生活支援事業のタイアップや地元企業からの就業情報の提供。地域の子育て支援のベースとなり、子育て勉強会の有料開催も徐々に拡大していく。</p> <p>(協力関係のある団体等とのネットワークはありますか、どのように広げていきますか) 関連団体のイベントに参加したり、本プロジェクトのイベントに参加をいただき、協力体制を築く。研究会などでの呼びかけ。</p>	
モデル事業期間 (平成24年~25年度) で判明した課題に 対する対応策 ※上記課題については「平成25年度 豊島区 居住支援協議会 活動報告書」の課題と 整合させてください	課題	対策と事業計画
	<p>1. 平日夜と日曜日の保育の体制を確保することが一番の課題である。</p> <p>2. []については、母親の負担が大きすぎることが問題。ただし []、プロジェクトが直接関わることはお互いリスクが大きすぎる。</p> <p>3. 地域活動への参加</p> <p>4. プロジェクト自身の収入が必要。</p>	<p>1. まずは東長崎近辺のファミリーサポート員に本プロジェクトの趣旨を伝え、協力を要請する。</p> <p>2. まずは、引っ越し後に実家を離れた状態になった上で、区の支援の状態を確認し、不十分であれば区への要請を行う。それと同時に地域の障害児支援団体への支援の要請を行う。</p> <p>3. 地域のイベントに積極的に参加し、地域住民との交流を図る。</p> <p>4. まだ、具体的に収入に関してはめどが立たないが、本年検討するべき課題としては取り上げ、対策を考えたい。</p>

団体名	河野 敦子
------------	-------

事業計画	年	月	予定
	26年	4月	社会企業家読書会
		5月	第3回意見交換会
		6月	社会企業家読書会 ファイナンシャルアカデミーお金のセミナー
		7月	第4回意見交換会
		8月	社会企業家読書会
		9月	第5回意見交換会 シングルママ向けシェアハウス見学会in 相模原
		10月	社会企業家読書会
		11月	第6回意見交換会
		12月	社会企業家読書会 イベント(未定)
		1月	第7回意見交換会
		2月	社会企業家読書会
		3月	第8回意見交換会

団体名	河野 敦子
------------	-------

活動メンバー	申請する活動に従事する方の氏名、役割分担を記入してください。	
	氏名(ふりがな)	分担する役割・資格等
	河野 敦子	代表

平成26年度 申請事業収支計画書

団体名	河野 敦子
-----	-------

(円)

収 入	項 目	積 算 内 容	金 額
		自己資金	
	居住支援事業		129,000
	サポート費用	3000円×3世帯×12	108,000
	セミナー費用	1000×6名×2回	12,000
	読書会会費	300×5名×6回	9,000
	協議会助成金		2,000,000
	その他助成金		0
	合 計		2,329,000

支 出	項 目	積 算 内 容	金 額	助成金充当額
		改修工事		233,000
		バリアフリー改修	233,000	0
	家賃等		1,200,000	1,200,000
	家賃	¥100,000 × 12カ月	1,200,000	1,200,000
	人件費		432,000	432,000
	保育員	保育員 2名 (1名につき¥750×3H×8日×12カ月)	432,000	432,000
	旅費・交通費		60,000	30,000
	交通費	¥5,000×12カ月	60,000	30,000
	水光熱費		0	0
	通信費		60,000	30,000
	通信費	¥5,000×12カ月	60,000	30,000
	資料等製作費		144,000	108,000
	チラシ・レジュメ等	¥12,000×12カ月	144,000	108,000
	会場費		120,000	120,000
	セミナー会場	¥30000×2回	60,000	60,000
	読書会会場	¥10000×6回	60,000	60,000
	消耗品・その他		80,000	80,000
	文具・その他消耗品		30,000	30,000
	火災・障害・損害保険		50,000	50,000
	合 計		2,329,000	2,000,000

平成26年度 豊島区居住支援協議会事業助成金申請書

平成26年3月19日

豊島区居住支援協議会会長 様

団体名・代表者名		特定非営利活動法人リトルワンズ 小山訓久	
申請する事業名		地域密着型一人親家庭自立促進住宅事業	
該当するテーマ (居住支援の主な対象)		<input type="checkbox"/> 高齢者支援活動 <input type="checkbox"/> 障害者支援活動 <input checked="" type="checkbox"/> ひとり親家庭支援活動 <input type="checkbox"/> その他支援活動 ※該当する口にレを入れてください。以下同様をお願いします。	
他の助成金利用の有無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
助成希望額 ※上限200万円		事業費(A) 1400000円	助成希望額(B) 1400000円
連絡先	担当者氏名	小山訓久	
	住所	[REDACTED]	
	電話・FAX	[REDACTED]	
	Eメールアドレス	[REDACTED]	
受付年月日	平成26年3月19日		

平成26年度 申請事業活動実施計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人リトルワンズ小山訓久</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決したい地域の課題はどのようなことですか。) 母子家庭の平均所得金額は262.6万円(児童を持つ他世帯の平均所得金額697.3万円の1/3)であり、「生活に困っていること」のアンケートでは「居住問題」が就業、家計に続き第3位となっているのが現状である(厚生労働省「平成22年度国民生活基礎調査」)。住居は生活の基盤であり、子供にとっては成長と学びの起点にもなるが、一人親家庭は住宅の確保が難しく、経済的な理由により生活基盤を整えることも困難となっている。 (実現したい成果はどのようなことですか。) 一人親に適切な住居を提供するとともに、ライフスタイルにあった自立を促進していく。現在の入居者が目指す短期目標を叶え、自立のロールモデルとなってもらう。地域に密着した住居支援と自立支援をモデル化し、他地区にも普及させていく。豊島区内での一人親家庭の住居問題の解決の一助となる。地域での孤立、孤育てを予防し、地域での子育てを啓発していく。</p>	
<p>事業の概要</p>	<p>(例:事業の主な対象は誰ですか。) 豊島区及び近隣地区在勤在住一人親 (どのようなサービスを提供しようとしていますか。) ・一人親家庭への住居の提供。 ・入居者への継続的な声掛けと生活支援相談受け付け。 ・居住者を対象に経済的及び社会的自立と豊かさを目標とする機会を提供。 ・交流会などネットワークと情報交換の機会を提供。 (どのような方法で実現しようと考えていますか。) ・賃貸併用住宅を賃貸契約し入居者に貸与。 ・各種専門家いつでも相談できる機会を提供 ・地域で安心して暮らせるようにガイドマップの提供、街めぐり、地域内支援者を紹介。 ・区やNPOとの協力の下、居住者への生活相談、自立支援等を実施。 (その事業を将来も継続していくためにどのような取り組みをかんがえていますか。) ・入居だけで完結しないよう、地域への関わりと就労を目標としていく。 ・現在入居者にロールモデルとなってもらい、新規居住者への支援補助を依頼する。 ・地域内での就労を目指すために、地元企業からの就業情報の提供。 ・企業による生活支援事業のタイアップを目指す。 ・入居しながらも就労できるように在宅就労を提供。 (協力関係のある団体とのネットワークはありますか、どのように広げていきますか。) 既に複数の団体と協力関係にあり、今後は子育て支援課、母子生活支援員とも協力したい。</p>	
<p>モデル事業期間 (平成24年～25年度) で判明した課題に 対する対応策 ※上記課題については「平成25年度 豊島区 居住支援協議会 活動報告書」の課題と 整合させてください</p>	<p>課題</p> <p>①一戸建ては見つかりにくかった。 ②住居提供者が見つかりにくかった。 ③入居希望者が見つかりにくかった。 ④入居に関わる負担を軽減できなかった ⑤入居者へのケアが不十分であった</p>	<p>対策と事業計画</p> <p>①当初は交流サロンを計画していたため、大規模な施設や一戸建てを中心に探していたが、なかなか物件が見つからなかった。豊島区の地域特性から単身者が多く、アパート型の空き室が多いことが判明したため、次年度ではアパートを中心に物件の確保を目指す。ただし、地域内連携を目指す事業であるため、地域内支援者に近いエリアの物件を中心に探したい。 ②初年度は認知が充分ではなかったため、住居の提供者が見つかりにくかった。次年度は空き家バンクも完成し、実績と窓口も出きたため、住宅提供者への呼びかけもスムーズになった。 ③一人親は入居に困っているのが現状だが、保育園や就業場所から離れるリスクを背負って入居は考えていない。また、本事業についても誤解が多く、周知も不十分であった。次年度は、周知を徹底し、保育園を中心に呼びかけを行う。 ④引っ越し費用や家賃などは区の協力により軽減できたが、新規住宅を考えた場合、家賃負担や保証人制度は充実したいと考える。次年度では、保証人提供も視野にいれていきたい。 ⑤相談や声掛けが不十分であり、居住者への生活支援の機会提供も少なかった。次年度は継続的な声掛けと支援提供を確立させる。</p>

団体名	特定非営利活動法人リトルワズ小山訓久
------------	--------------------

事業計画	年	月	予定
	26年	4月	入居者: 第1回交流会
		5月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 事業PR、チラシ作製
		6月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 不動産関係者、空き家バンク登録者向け説明会
		7月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 物件探し
		8月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 物件探し
		9月	入居者: 第2回交流会 個別生活支援 新規住宅: 物件オーナー折衝
		10月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 物件オーナー折衝
		11月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 不動産関係者、空き家バンク登録者向け説明会
		12月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 物件決定、新規入居者募集
		1月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 新規入居者募集 選定
		2月	入居者: 個別生活支援 新規住宅: 新規入居者入居
		3月	入居者: 第3回交流会 個別生活支援 自立指標作成 新規住宅: 新規入居者募集

団体名	特定非営利活動法人リトルワズ小山訓久
------------	--------------------

活動メンバー	申請する活動に従事する方の氏名、役割分担を記入してください。	
	氏名(ふりがな)	分担する役割・資格等
	小山 訓久(こやまくにひさ)	特定非営利活動法人 リトルワズ 代表 事業統括、自立支援
	関智子(せきともこ)	広報企画支援
	三上美都(みかみみと)	デザイン企画支援
	佐藤伊織(さとういおり)	ファイナンシャルアドバイス
	安原弘樹(やすはらひろき)	生活保護受給者ケア
	早川佐保(はやかわさほ)	育児支援アドバイス
	柴田文恵(しばたふみえ)	法律関係アドバイス

平成26年度 申請事業収支計画書

団体名	特定非営利活動法人リトルワンズ小山訓久
-----	---------------------

(円)

収 入	項 目	積 算 内 容	金 額
		自己資金	
	居住支援事業		0
	協議会助成金		1,400,000
	その他助成金		0
	合 計		1,400,000

支 出	項 目	積 算 内 容	金 額	助成金充当額
		改修工事		0
	家賃等		0	0
	人件費		720,000	720,000
		事業委託管理、事業進行、専門家アドバイス謝礼	720,000	720,000
	旅費・交通費		50,000	50,000
		現地視察、入居相談時の交通費、ボランティア交通費	50,000	50,000
	水光熱費		0	0
	通信費		20,000	20,000
		ブログ、HP、ドメイン費	1,000	1,000
		サーバー代	5,000	5,000
		情報アップロード	14,000	14,000
	資料等製作費		370,000	370,000
		チラシデザイン費	80,000	80,000
		小冊子作成費	200,000	200,000
		資料文献調査費	50,000	50,000
		印刷製本費	40,000	40,000
	会場費	公的施設を使うため経常なし	0	0
	消耗品・その他		240,000	240,000
		コピー用紙、筆記用具、写真現像費など	20,000	20,000
		バリアフリー、防犯用品の購入、子供用ケガ防止シール、テープなどの購入	220,000	220,000
	合 計		1,400,000	1,400,000

シングルマザーズシェアライフプロジェクト事業者選考のための評価シート

選考委員氏名

以下の項目について評価し（該当する□に☑してください）、また、その理由を簡単にご記入ください。

1. 空き家を活用したシェア居住支援の推進について、意欲が感じられるか

- | | | |
|--|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 意欲が感じられ実効性も期待できる | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 意欲は感じられるが実効性が期待できない | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 意欲が感じられない | 0点 | |

2. 2年間のモデル事業で生じた問題点を改善する提案になっているか

- | | | |
|--|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 問題点がよく整理されており改善が期待出来る | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 部分的ではあるが改善されることが期待出来る | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 改善が期待できない | 0点 | |

3. 提案された事業内容について実現性が高いと感じられるか

(1) 実施体制について

- | | | |
|---|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 既に実施体制が整っている | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 十分な実施体制の構築が期待出来る | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 体制づくりが不十分だと思われる | 0点 | |

(2) 事業収支について

- | | | |
|---|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 将来は自立出来る可能性が期待できる | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 収支面について問題点はなさそうである | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 事業の継続性に不安を感じる | 0点 | |

4. 提案された事業内容からは将来の発展性や周りへの波及効果が感じられるか

- | | | |
|----------------------------------|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 強く感じられる | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 期待出来る | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 感じられない | 0点 | |

5. 居住支援協議会の取り組みを区内に広めていくためのアピール性が感じられるか

- | | | |
|----------------------------------|-----|--------|
| <input type="checkbox"/> 強く感じられる | 10点 | (評価理由) |
| <input type="checkbox"/> 期待できる | 5点 | |
| <input type="checkbox"/> 感じられない | 0点 | |

総得点

点/60点

※1、2(1)、2(2)、3、4得点の合計

特記事項

採点総括表

	河野	小山
1	45	40
2	40	40
3(1)	10	30
3(2)	15	10
4	45	40
5	40	35
総得点	195	195

高得点者	同点
------	----